

平成 25 年 1 月の解説（府県天気予報）

【1月の天候状況】

上旬は、冬型の気圧配置となる日が多く、北日本から西日本の日本海側では曇りや雪の日が多くなり、太平洋側では晴れの日が多くなりました。2 日頃は低気圧が発達しながら北日本を通過後、強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まり、日本海側では大雪や暴風雪となった所がありました。沖縄・奄美では気圧の谷や寒気の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。

中旬は、期間のはじめは高気圧に覆われて全国的に晴れた所が多くなりました。13 日～14 日には低気圧が急速に発達しながら日本の南岸を通過したため、全国的に荒れた天気となり、東日本や東北地方の太平洋側では平地でも積雪となり、大雪となった所がありました。その後は冬型の気圧配置となる日が多く、日本海側では曇りや雪または雨となり、太平洋側では概ね晴れました。沖縄・奄美では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日もありました。

下旬は、期間の前半は本州付近を通過した低気圧や気圧の谷の影響で、東・西日本で曇りや雨の日が多く、北日本は高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。25 日頃に低気圧が発達しながら北日本を通過した後は、北日本を中心に冬型の気圧配置が続きました。このため期間の後半は、北日本や東・西日本の日本海側では曇りや雪の日が多く、大雪や暴風雪となった所がありました。東・西日本の太平洋側では概ね晴れました。沖縄・奄美では、高気圧と気圧の谷や寒気の影響を周期的に受け、天気は数日の周期で変わりました。

月平均気温は、北日本から西日本にかけて低く、沖縄・奄美では平年並でした。月降水量は、北日本の太平洋側、西日本の日本海側で少なくなりました。北日本の日本海側、東日本、西日本の太平洋側、沖縄・奄美では平年並でした。月間日照時間は、北日本から西日本にかけての太平洋側でかなり多く、北日本から西日本にかけての日本海側で多くなりました。沖縄・奄美では平年並でした。降雪の深さ月合計は、東日本の太平洋側で多く、北日本、東日本の日本海側、西日本では平年並でした。

【1月の検証結果】

17 時発表の天気予報による「降水の有無」の全国平均の適中率は、明日予報は 86% で例年値^(注)より 4 ポイント高く、明後日予報は 82% で例年値より 3 ポイント高くなりました。各地方の適中率では、明日予報は東北地方と四国地方で例年値より 8 ポイント高く、九州北部地方と九州南部地方では 5～6 ポイント高くなりました。明後日予報は九州北部地方と沖縄地方で例年値より 7～8 ポイント高く、東北地方と九州南部地方で 5～6 ポイント高くなりました。

明日の最高気温の予報誤差は、例年値より小さい地方が多く、北海道地方と関東甲信地方及び東海地方で例年値より 0.4 小さくなりました。全国平均は例年値より 0.2 小さい 1.3 でした。最低気温の予報誤差は、全国的に例年値と同じか例年値より小さく、全国平均は例年値より 0.1 小さい 1.5 でした。

^(注) 例年値は気象庁 H P（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【3月の天気予報の利用にあたって】

3 月になると日本付近で冬型の気圧配置が続くことは少なくなり、高気圧と低気圧が交互に通過して、数日の周期で天気が変わることが多くなります。また、暖かくなった日の翌日に気温が急速に下がるなど、天気の変化や気温の変動が大きくなるので、最新の天気や気温の予報を利用し健康管理等に注意して下さい。